

平成 31 年 1 月 22 日

報道各位

株式会社エフエムあやべ
代表取締役社長 井関悟

特別番組『高次脳機能障害リレートーク～4つの立場から
その理解と支援のために』放送のご案内

厳冬の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、エフエムあやべでは、かねてより視覚障害者の方への市広報誌の読み上げやパーキンソン病患者の方々の活動ビデオを作成するなど、様々な形で障害者の方々と関わってきました。

今回は昨年 9 月の「北部リハビリテーション支援センター」（高次脳機能障害者への北部支援拠点、相談窓口）の開設を受け、高次脳機能障害者への気づきと理解を深めてもらうための番組を企画しました。

「高次脳機能障害」は事故や脳卒中などの病気により脳を損傷することで、記憶障害や注意障害、行動・感情障害、遂行機能障害など様々な症状が発生し、症状が重複していることも多いため、社会生活上、様々な困難が生じます。また、身体に麻痺がない場合は外見上はわかりにくく、本人も自覚していないことも多いため、周囲に理解されず本人や家族に多くの負担がかかることもあります。しかしながら、適切な支援により社会参加や就労も可能となることが少なくありません。社会的にどのような支援ができるのか、就労に成功した当事者にはどのような変化があったのか、当事者や家族の方はどのような支援を望んでいるのかなど、当事者の声を伝えることで「高次脳機能障害」への気づきと理解を深めてもらう番組です。

番組では「高次脳機能障害」を支援する立場の行政・医療・就労支援の 3 機関の関係者のインタビューと支援される立場として当事者の声を届けます。

この番組は、サイマル放送（同時放送）でインターネットを通じて全国で聴取することができます。

つきましては、放送の概要をお知らせいたしますので、格別のご配慮を頂ければ幸いです。なお、収録は終わっていますが、写真の提供はできますので、必要でしたらお知らせください。

記

【番組名】 特別番組 『高次脳機能障害リレートーク～4つの立場から その理解と支援のために』

【内容】 京都府リハビリテーション支援センター 武澤信夫 センター長
京都府北部リハビリテーション支援センター 主査 山元顕太さん
高次脳機能障害支援コーディネーター 東小百合さん
舞鶴赤十字病院 言語聴覚士 山下茜さん
障害者就業・生活支援センターわかば 網治誠 センター長
主任就業支援員 井関智子さん
中丹高次脳機能障害者と家族の会「さくら」（さくらの会） 事務局長 上原榮さん
当事者 細見伸吾さん

以上の方のインタビュー
進行役・構成 酒井紀子

【放送】 1月26日（土） 13時00分～15時00分 2時間番組



お問い合わせ

株式会社エフエムあやべ 真下・酒井

(TEL) 0773-42-9988 (FAX) 0773-42-9977 (mail) info※fmikaru.jp